静岡新聞 ワークシート

見頃を迎えたミシマバイカモ
＝三島市南本町の三島梅花藻の里

ミシマバイカモ 可憐

三島・群生地 湧水が育む水中花

県の絶滅危惧種に指定されるミシマバイカモが、三島市南本町の群生地「三島梅花藻の里」で見頃を迎えた。梅の花に似た白く可憐な花が来場者の目を引いている。

群生地を管理するグラウンドワーク（GW）三島によると、ミシマバイカモは清らかな湧水が育む水中花。手のひら型の浮葉が特徴で、1930年に同市の楽寿園小浜池で発見された。花は一年中咲くが、暖かくなる春からが見頃となる。水温が一定できれいな湧水の中で育つため「清流のバロメーター」と言われる。

一時は湧水の減少や水質悪化で市内の川から姿を消したが、GW三島が復元させようと95年に梅花藻の里を整備。同所で増殖させて市内の川に移植し原風景の再生を進めている。

（2024年４月26日付東部版）

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

①写真のミシマバイカモは静岡県の何に指定されていますか。　（　　）

②ミシマバイカモはどんな花を咲かせますか。記事から読み取って書きましょう。

（　　）

③ミシマバイカモが「清流のバロメーター」と言われている理由を書きましょう。

（　　）

④ミシマバイカモを見つめる人たちはどんな会話をしていると思いますか。30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

				5					10					15
				20					25					30

【学習のポイント】　※対象は小学校～中学校／生活、理科、社会、総合

新聞記事で紹介されている人たちの気持ちを想像しながら読むことで、記事への理解を深めよう。

＜解答例＞

①絶滅危惧種

②（例）梅の花に似た白く可憐な花。

③（例）水温が一定できれいな湧水の中で育つため。

④（例）今年も来場者の目を引くきれいな花が見頃になってうれしいな。（29字）

湧水の減少や水質の悪化から復元できて本当に良かったね。（27字）

ここで増やして市内の川に移植し、原風景を再生させようよ。（28字）　など

＜解説＞

①本文の１行目にあるね。他に何が指定されているか、この機会に調べてみよう。

②本文４行目や写真から読み取ろう。

③本文12～14行目に書かれているよ。「清らかな湧水が育む」「湧水の減少や水質の悪化」からも予想できるね。

④写真のほか、「見頃」「復元」「整備」「再生」「原風景」などの言葉からミシマバイカモへの気持ちを考え、会話の内容を予想しよう。

作問者は静岡新聞ＮＩＥコーディネーター・
矢沢　和宏

もっとやってみよう！と思ったら、「静岡新聞ＮＩＥワークシート」を検索してね。

週刊 Yomeもっと静岡